産地と輸出事業者が連携する販売促進活動

豪州向け柿　初輸出

和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会

豪州向け柿輸出会議について

豪州への柿輸出を目指し、平成30年度より活動している。現在、JAグループ、JETRO及び県関係機関で構成し、官民一体となって、輸出促進に向けた協議を行っている。

－開催実績－

H30.05.21　第1回会議
H30.07.13　第2回会議
H30.08.30　第3回会議
H30.09.26　第4回会議
H31.02.15　第5回会議

豪州向け柿輸出の検疫条件緩和

平成29年9月、豪州との協議及び検疫官による園地視察受け入れを実施。平成30年1月25日付けで臭化メチルくん蒸処理によらない新たな植物検疫条件で輸出可能となった。

豪州向け輸出かき検疫実施要領案に基づく取組について

1）毎年4月30日までに植物防疫所へ栽培地検査申請を提出。

2）植物防疫官は、登録生産園地について7月から収穫までの毎月、カキノヘタムシガの調査を実施。

3）収穫直前には、植物防疫官による検査が行われ、園地内及び果実に対象病害虫が存在しないか確認し、栽培地検査合格証明書が発行される。

4）選果こん包施設及び選果技術員の登録、選果技術員に対する研修。

5）輸出直前には、植物防疫官による輸出検査が行われ、合格証明書が発行される。

豪州向け柿輸出出発式

日本で初めて柿を輸出するにあたり、産地において出発式を実施。

試食PR活動

シドニーで展開するアジア系スーパーマーケット3社4店舗にて、店頭販売促進活動を実施

プロ向けセミナー（JETRO事業）

SOFITEL HOTEL SYDNEY WENTWORTHにて、現地レストランシェフ及びマスコミを招いてプロ向けセミナーを実施。

商社及び小売店との商談（現地検討会）

青果物卸1社、スーパーマーケット5社を訪問。

商談と併せて、日本産柿の販路拡大手法などについて情報収集した。

有名日本食レストランでの柿メニューの提供

シドニーの著名な日本食料理店3店舗にて、柿を用いたメニューの提供。

豪州内における柿販売状況

11月には、アジア系スーパーなどで米国産蜂屋柿が販売されている。
価格は、2.99豪州$/1個程度であり、流通量は少ない状況。
輸入量の多いニュージーランド産富有柿は6月頃に流通。

参考

園地登録	4園地48a
うち刀根早生、平核無等	2園地28a
富有柿等	2園地20a
輸出実績	1．0t